

岡田光彦駐トリニダード・トバゴ大使が 酒田港を視察し、酒田市内で講演されました

4月28日（金）、岡田光彦駐トリニダード・トバゴ大使が、酒田港を視察されました。

当日は、酒田港の現況について海上から視察され、その後東北公益文科大学で開催された公益教養プログラムFORUM21「世界から山形庄内を見つめる」において、「カリブ海の魅力とクルーズ」をテーマに講演されました。

講演では、世界で最もクルーズ船が行き交うカリブ海でのクルーズに関する事例が紹介されました。

また、初の外国船籍のクルーズ船の寄港が迫る酒田港については、「完成したばかりの古湊ふ頭には歓迎の雰囲気漂っている。素晴らしい歴史や食文化がたくさんあるので、事前に客層の情報やニーズを分析して、それぞれに合ったプランをシミュレーションしての準備が必要であるが、一番はおもてなしの心が大切である。」と話されていました。講演後には、聴講者からの質問を交えたトークセッションが設けられ、大盛況のうちに終了しました。



港湾業務艇「みずほ」前での撮影
岡田大使（左）と上原所長



船内での酒田港の概要説明



海上から酒田港を視察する岡田大使



講演される岡田大使

